

お父さん応援出張講座 in 富士急行

を開催しました

参加者の声です！



子どもを育てる、子どもと向き合うのは、すごく時間がかかることだと思いました。いかに、大人が決まったフレーズをいっているのかを実感できました。

仕事が忙しいことを理由に、子育てから遠ざかっていたので、これを機に少しずつ変えていこうと思いました。



子育てを通じて、日々の生活においても取り組める内容でした。普段は、なかなかこのようなお話を伺うことができないので、企業がこのような機会を設けたことが、とても有難かった。



家庭でも職場でも役立つ内容でした。今後の家庭生活で役立てていきたいと思います。



* 講座より

「育児は育自 育児は自分業 子育ては生涯学習」



「子どもたちに『甘え』は、必要だと思いますか？」

藤森先生は、参加された方々に質問をされました。会場の反応は、様々でした。

藤森先生は、お一人お一人のお考えを受けとめながら、

「子どもたちにとって、『甘え』は必要なんですよ。」と笑顔で話され、その理由として、「甘え」とは愛情を求めている意思表示であり、相手に受けとめられた「安心感」が、子ども自身の心の

中に、自己肯定感を育てるのだと教えてくださいました。参加された方々は、真剣に、時折うなずきながら、藤森先生のお話に耳を傾けていました。

藤森先生のお話を下記にまとめました。

☆「親」の仕事とは？

- ・子どもの**安心**を育てる（基本）
- ・子どもを**自立**させる（目標）

<子育ての基本>

子どもを自分の持ち物
のように思わないこと

☆子どもに安心感を与えるには？

- ・子どもの気持ちを受けとめた言葉をかけること

* 「あなた」メッセージ

「かなしかったんだね」「くやしかったんだね」「うれしかったんだね」
「よくやったね」「できたね」など

☆では、自分の気持ちを伝えるときには？

「わたし」メッセージで伝えましょう。

* 「わたし」メッセージ

「うれしいよ」「ありがとうね」「助かるよ」
「助かったよ」「悲しかったよ」「大好きだよ」など

参加された方から…

自分の意見を押しつけることが多かった。また、せっかちなので、子どもの行動にイライラすることも多かった。今すぐ全てを改善できるとは思わないが、少しずつ取り組んで、子どもが安心して生活し成長していけるようにしたいと思う。